
製品・サービス / トピックス

業界初「周期始動方式」のバッテリー自動点検に対応した「みるだけバッテリーチェック」機能付き誘導灯を発売



パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社（以下、パナソニック）は、2025年10月の「消防用設備等の点検要領の一部改正」にて新たに認可された「周期始動方式」のバッテリー自動点検を業界で初めて（※1）搭載した新製品「みるだけバッテリーチェック」機能付き誘導灯を12月1日に発売します。

火災や地震などによる停電の際、バッテリーで点灯し、煙や暗闇の中で避難経路を示すのが誘導灯です。万が一の事態に本来の性能を発揮するため、6か月ごとの点検および報告が消防法によって定められています。一方で、消防設備の管理現場における点検実施

者の人手不足や高齢化が課題となっています。こうした中、誘導灯のバッテリーを定期的に自動点検し点検時間を短縮できる「周期始動方式」を新たな点検方式として認可する点検要領改正が2025年10月に実施されました。

今回発売する誘導灯は、この「周期始動方式」の自動点検機能を「みるだけバッテリーチェック」機能として業界で初めて（※1）搭載した誘導灯です。従来のバッテリーの点検では、本体のボタンやリモコン操作により点検を開始し、バッテリーにより20分間（※2）点灯できるかを確認するため、点検完了までの待機時間が発生します。「みるだけバッテリーチェック」機能付き誘導灯は3か月ごとに自動で点検を行い、新たに搭載した青色のインジケーターで自動点検の実施を表示するため、点検実施者は目視確認のみでバッテリー性能の点検を完了できます。また、定期的な自動点検で充放電を行うことで、バッテリーの性能維持にもつながります。

パナソニックは今後も「みるだけバッテリーチェック」機能を搭載した製品ラインアップを順次拡充し、消防設備の点検業務の効率化と安全性向上に貢献していきます。

<特長>

1. バッテリー容量の自動チェックで点検作業の効率化

従来のバッテリー点検では、ボタンやリモコン操作により点検を開始し、バッテリーによって20分間（※2）点灯できるかを確認するため、点検完了まで待機時間が発生していました。「みるだけバッテリーチェック」機能付き誘導灯は、定期的に自動で点検を行うため、待機時間がなく、短時間で点検を完了できます。



①ブレーカーの遮断②点検スイッチ③リモコン ※2 長時間定格型は60分間

2. 3か月ごとの定期的な放電でバッテリーを活性化

誘導灯に採用されているニッケル水素電池は、性能を最大限に発揮するために定期的な充放電が必要です。誘導灯のバッテリー点検では、バッテリーの電力を用いて実際に必要な時間点灯できるかを確認します。これにより、定期的な点検がバッテリーの性能維持に寄与します。通常、法令点検は6か月に一度ですが、「みるだけバッテリーチェック」機能付き誘導灯は3か月ごとに自動点検を実施し、バッテリーを活性化します。

定期的な放電で活性化



※1 日本国内の誘導灯市場において、令和7年10月3日付消防予第410号における「周期始動方式」に対応するものとして。2025年11月25日現在、パナソニック調べ

※2 大規模商業施設、高層ビル、地下駅などでは60分間の点灯が定められています。